

平成19年度 事務事業評価表	担当	市民福祉部 福祉課	内線等	2111
事務事業名	精神障害者小規模通所授産施設運営事業		事業コード	1. 一般事務事業（ソト事業）
根拠法令等	蒲郡市精神障害者小規模授産施設運営事業費補助金		Dその他	

総合計画での位置付け

基本目標	3. 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	障害者(児)福祉
------	---------------------	-----	----------

事務事業の内容

対象（受益者）	社会福祉法人はばたきに対し
手 段	精神障害者小規模通所授産施設「オレンジホーム」の運営を支援することにより（平成19年度迄）
想定する成果	精神障害者等の障害者の就労意欲促進及び社会適応能力の向上を図る。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
開所日数	203日	204日	260日
通所延人員	2,537人	2,512人	3,240人
当初登録者数	19人	20人	18人
事業費総額	13,083,813円	15,978,974円	16,325,000円

成果指標

成果指標名	1日当たり通所人員	1人当たり補助金額（日額）
成果指標の説明	通所延人員 ÷ 開所日数	事業費総額 ÷ 当初登録人員

事業の進捗状況 （ 一般 会計 ） （単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		12.5人				12.3人				12.5人			
成果指標		688,622円				798,949円				906,944円			
事業費	事業費	10,000				10,000							
	人件費	1,557				1,562				1,569			
	(人数)	正規	0.2	非常勤	0.0	正規	0.2	非常勤	0.0	正規	0.2	非常勤	0.0
	合計	11,557				11,562				1,569			
財源内訳	国												
	県	7,500				7,500							
	市債												
	その他												
	一般財源	4,057				4,062				1,569			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	3	3	3	精神障害者が作業訓練、生活指導を受けることにより就労意欲、生活リズムの安定、社会適応能力の向上を図っている。
経済効率性	3	2	3	3	精神障害者等の社会復帰の場として多種のわたり訓練作業に先駆的に取り組んでいる。
事務効率性	2	2	2	2	主に精神障害者の親で構成する家族会が母体の法人で、運営が弱体であり、事業運営面で市の支援が必要である。
必要性	3	3	3	3	在宅の精神障害者等の社会復帰を促進する場として必要である。
小計	10	10	11	11	
施策への貢献度	3	-	3	-	
合計	13	10	14	11	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	B	精神障害者小規模授産施設「オレンジホーム」への運営主体である社会福祉法人はばたきへの補助することによって、精神障害者等の社会復帰を促進を支援するものである。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
上記改善点の実施状況
平成19年度までは、経常経費の補助金と作業収入等で事業運営していたが、平成20年度からは就労継続B型事業所へ移行し、障害福祉サービスの利用料収入と作業収入等になり、自主運営されるようになった。

今後さらに改善すべき点

新体系への移行により、補助金運営から利用料を財源とした事業所となったため、安定的に事業運営できるように努めることが重要である。

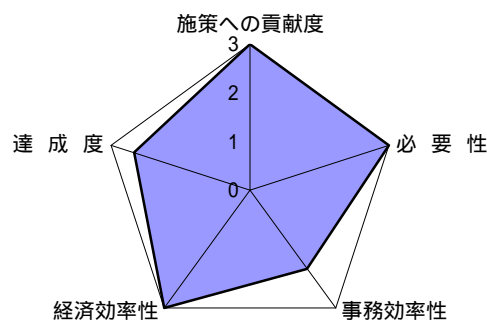
平成21年度予算に反映する項目

今後の方向性

拡大、充実

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点